

第4分科会 組織運営

分科会テーマ 参加意識の高揚と活動の活性化

研究内容 多くの仲間と共に築くPTA活動

現状と課題

少子化による児童生徒数の減少が進み、少人数学級や学年の複式化が避けられない学校では、これまで当たり前に行われてきた行事の開催ができないなど様々な学習活動の継続が困難な状況に直面しています。このような背景からも、学校の統合は今後さらに進むと考えられますが、新たな学校でスタートする新たなPTA組織の在り方について考えます。分科会場の町立高島中学校が辿った実際の統合経過を事例にしながら会員の意識高揚と組織活性化の工夫、スケールメリットを生かしたこれからのPTAについて考えます。

討議の視点

- 参加者の意識を高める活動
- 活動を活性化させるための組織づくり

基調講演

講演題名 『地域の魅力を活かし、大切にした学校創り』

基調講演者名 寒河江 信

所 属 山形県東置賜郡高島町 町長



プロフィール

昭和24年3月9日 高島町生
平成15年4月 山形県議会議員初当選
平成16年 文教公安委員会副委員長
平成17年 農林水産委員長
平成18年4月 高島町長 当選
平成30年4月 4期目

講演内容

高島町唯一の中学校『高島中学校』は平成28年度4月に開校し、現在は4年目に入りました。昨年度末には、3年間高島中学校で過ごした生徒が卒業し、確かな伝統を築き始めたところです。高島中学校開校は、殆どの保護者や地域の方々がこれまでに経験したことのない大規模校開校であったため、町民の方々の不安を解消できるように時間をかけながらすすめる必要がありました。そのため、平成18年に「学校経営計画策定検討委員会」、平成20年には「高島町小中学校再編統合検討委員会」を設置し、町内小中学校のPTAの方も含め、多くの委員の方々から様々なご意見を頂戴してきました。更に、地域住民の皆様のご理解とご協力を得るために、平成21年度～平成22年度の2か年にわたり、「まちづくりトーク」や教育委員会主催の意見交換会等も開催してきました。

生徒数の減少（20年後の町の生徒数が450人程度）や、校舎の老朽化等からの懸念されること等を丁寧に説明し、かつ施設面でも学習指導面等でも町をあげて中学生を応援する環境づくりを約束し、平成22年秋に4つの中学校を1つに統合することを町民の皆様にご報告いたしました。

結果、教科指導においては全教科に免許を所有した複数の教諭等を配置することで、多角的視点で学習指導を進めることができている。これは教師自身の資質向上にもつながっていると感じます。部活動面では運動部が12種目、文科系は4種類設置し、かつ複数顧問で指導することが可能となり、統合前よりきめ細やかな指導が実現しました。加えて学習施設はもとより、柔剣道場や大小2つの体育館、野球やサッカー、ソフトボール、テニス、陸上競技が同時に利用できるグラウンドを整備することができました。

今後、各地で小中学校の統廃合が予想される中、この高島町の取り組みは一つのモデルとなるかもしれません。子供達が安心して通える学校、保護者が安心して送り出せる学校を創るためにも今後もPTAや地域の方々の多大な理解と協力が大切となります。

今後のPTA活動の参考に少しでもお役に立てれば幸いです。

パネルディスカッションについて ～PTA活動を活性化させるために～

- ・一緒に活動を広げる仲間づくりのためにも楽しい雰囲気づくりが大切
- ・地域にある既存の団体等との連携
- ・必要な活動であるかを再度検証すること 等の事例や意見が出された。

また、数多くのPTA活動を経験されてきたコーディネーターからは、組織の3要素:「共通目的、貢献意識、コミュニケーション」が大切であると、話をしていただいた。



コーディネーター	平 みわ	長井市PTA連合会 元会長 長井市立致芳小学校PTA 元会長 (山形県長井市在中) 長井市青少年育成市民会議 元副会長 おらんだラジオ 元パーソナリティー
パネリスト	今野 広元 箱崎 洋一 佐藤 誉範	仙台市PTA協議会 副会長 福島県いわき市立湯本第一中学校PTA 会長 山形県東田川郡三川町立横山小学校PTA 会長
分科会運営責任者	志賀 猛彦	仙台市PTA協議会 会長
分科会会場責任者	佐藤 和憲	山形県東置賜郡高島町立高島中学校PTA 副会長
会場		山形県東置賜郡高島町立高島中学校 2階多目的ホール